

平成23年度 第2回花見川区公民館運営審議会議事録

第1 日 時 平成24年3月15日(木) 午後1時30分～午後3時30分

第2 場 所 幕張公民館 講習室

第3 出席者 (委員)(定足数8名>7.5名=15名/2)

出 席・・・14名

新田委員長、田中副委員長、竹内委員、加瀬委員、鶴岡委員、小嶋委員、吉田委員、
大矢委員、東野委員、服部委員、鈴木委員、實川委員、藤江委員、花島委員

欠 席・・・1名

門脇委員

〈事務局〉

笹本館長、松尾副館長(幕張)、渡貫館長(花園)、平川館長(犢橋)、田中館長
(検見川)、小原館長(花見川)、篠崎館長(さつきが丘)、小出館長(こてはし台)、
和田館長(長作)、石井館長(朝日ヶ丘)、秋元館長(幕張本郷)、永田主任主事
(幕張)

第4 審議会の概要

1 議事録署名人の選出

(1) 吉田委員、大矢委員が議事録署名人に指名された。

2 区内公民館事業及び区事業の平成24年度事業計画及び平成23年度事業報告について

(1) 松尾副館長及び各館長より、各公民館の主催事業の平成24年度事業計画と平成23年度事業報告を併せて説明した。

(2) 笹本館長より花見川区事業の平成24年度事業計画と平成23年度事業報告について併せて説明した。

3 その他 「第63回千葉県公民館研究大会」(於：千葉県南総文化ホール 他[館山市]平成23年11月17日実施)の報告について

(1) 出席委員より報告、感想があった。

第5 審議会前・事務経過

1 配布資料確認

2 議事進行についての説明

3 傍聴人の入室・・・なし

第6 審議会・会議経過

- 1 開会のことば（進行 松尾副館長）
- 2 委員長あいさつ（新田委員長）
- 3 規定により、議長は委員長、副議長は副委員長が務めることになっており、それぞれの席に着く。
- 4 議事録署名人として、吉田委員、大矢委員を選出した。
- 5 議題（審議事項）
 - (1) 承認事項 議案第1号 平成24年度事業計画について（奇数ページ）
 - (2) 報告事項 平成23年度事業報告について（偶数ページ）一括して、資料1～21ページに基づき、提案・説明した。

松尾副館長と各館長 各公民館の平成24年度事業計画の提案、並びに平成23年度事業経過を報告、説明した。

笹本館長 区事業の平成24年度事業計画の提案、並びに平成23年度事業経過を報告、説明した。

委員長 平成24年度事業計画の提案について意見を求める。
委員 花園公民館の「ガス管で万華鏡を作ろう」で使用するガス管はどんな材料なのか。

事務局 古くなったガス管をリサイクルして活用するというもので、ポリエチレン製の古くなった配管を利用して使っている。材料の準備や講師はガス会社をお願いして実施している。

委員 主催事業から発展してサークル化を目指してやっているとのことだが、積極的に働き掛けているのか。

事務局 講座によってはサークル化を念頭に計画をたて、ある程度そういう趣旨を説明している。

委員長 「つどい」「まなび」「つなぐ」というのが公民館の目的である。ぜひ力を入れてやってほしい

委員 幕張公民館の郷土史講座や国際交流の講演会などに参加しているが、そこではサークルのリーダーが中心となって公民館と共催で講座を続けている。そこまで育てるには意図的に仕掛けないとできない。どんな形で種をまいて、そのサークルを育てているのか。

事務局 公民館の講座を受講していただき、興味のある方は

残っていただき、勉強会等、他の方たちへ輪を広げていただくようにしている。

委員 花園公民館でもサークルが活発に動いているようだが、どのようにして主催事業から発展させているか。

事務局 23年度事業の中で「写真展でふり返る検見川周辺の歴史」をサークルが企画し、1週間、花園公民館の部屋を使って写真を展示した。24年度も同様に花園地区周辺の今と昔の定点写真を撮ったものを展示して目玉事業としたい。また、定期的に集まっているような企画をしていただき、公民館職員と連携して地域住民に来てもらえるような講座を共催していきたい。

委員 23年度で防災講座を幕張公民館と幕張本郷公民館で実施したようだが、どういう成果と課題が出たのか。

事務局 前回の運営審議会での提言を受け、予算の関係もあるため、どの程度できるか検討していると説明したが、花見川区では5公民館で8事業、計画した。幕張公民館では「東日本大震災写真パネル展」を実施し、また直接被災地へ行って支援活動を行った花見川消防署員に講師をお願いして「迫りくる巨大地震に備えて」と題して現地での様子を地域の方たちに話をしていただいた。また文化祭でもクラブ連絡協議会のご協力ですべて日本赤十字社による応急手当や非常食の炊き出しなどを実施した。また、24年度でも「巨大地震にどう備えるか」を実施する計画である。幕張本郷公民館においても講師の都合で3連休の初日に実施ということもあり、集まり具合も良くなかったが、行政がすぐに対応できないだろうということで、3日間耐えるための基礎知識と家庭でできる簡易トイレの作り方を話していただいた。24年度も日程等に気をつけてこういう講座を組んでいきたい。

委員 前回の運営審議会では全部の公民館で防災講座を実施するという話を聞いていたので、その後、市教委の担当者にも直接会って面会した中でも全部の公民館

でやると言っていた。ところが花見川区では2館しか実施していない。稲毛区の公民館ではNPOの方が来て講義をしていただき、40～50人ぐらいの人が集まったと思う。どういう理由で全館で実施できなかったのか。

事務局 全部の公民館でやるとは言っていない。やる方向で検討していると説明し、その後で予算もついて事業が始まったばかりなのでと補足して前回説明した。

委員 市教委の担当者的話から全部の公民館で共通して実施すると思っていたのだが。

事務局 市内47公民館の中でできる限りやるよう検討しようという話があった。それについては前回の運営審議会でも説明した。できなかった理由は地区によっては町内会単位で実施しているところもあり、地域性という事情がある。

委員 24年度で防災に関する事業を実施する計画をしているのは幕張、花園、幕張本郷の3館ということか。

事務局 犢橋公民館では先の震災を受け、高齢者対象の「消費者講座（知っておきたい消費者知識）」の中で家屋の保全や維持を勉強しようということで実施し、受講者を募ったが、さほど集まらなかったというのが現状だ。

委員長 地元の自治会等が企画しているということも聞いており、難しいところもあろうかと思う。防災講座を実施しても人が集まらないというのはネーミングをうまく付けないといけないのでは。

事務局 こてはし台公民館では23年度、「マイナス162度の不思議な世界」をガス会社の協力のもと実施したが、24年度は子ども対象ではあるが、前半に科学の講座と後半に防災講座を実施するというガス会社から企画の提案があった。これはこてはし台公民館だけでなく花見川区内の公民館でこのガス会社を使って実施する場合はすべて防災講座が含まれている。したがって多くの公民館で実施されるのではないかと。

- 委員 公民館の講座で話を聞いたからいいというものでもないと思う。私のところでは約1000世帯を4つに分けて自主消防団を結成し、年に2回、訓練を実施しており、近くのゴルフ場でもやっている。公民館で実施しろというよりも地域の自治会等が中心となってやるべきだ。
- 委員 私の考えは自治会によって防災についての考え方の落差が相当あるように思える。役員も毎年変わり、会長・副会長も変わってしまう。
- 委員 それを定着させるのは自治会の都合であって、いくら公民館でと言ってもここにいる公民館長は地元の方ではない。防災というのは自治会がしっかりしないといけない。
- 委員 自治会やPTAと公民館が共催してやればある程度問題が解決し、進歩するのではないか。私のところでも防災訓練は実施しているが、形だけでやっている気がしてならない。
- 委員 公民館どうこうという主題にはならない。公民館が地域の自治会に声をかけても自治会長が乗り気にならなければどうしようもない。私の地域でも毎年自治会長は代わっている。それでも継続的に防災訓練は今年度5回も実施している。住民意識の問題であって、公民館でやれというのはどうかと思う。
- 事務局 23年度防災講座を実施できなかった公民館もあるが、避難訓練等は各公民館で年2回、利用者にも協力いただいて実施しており、それを通して防災の意識が高まればと思っている。
- 委員長 ひとくちに防災講座と言っても幅広い。では何を教えたらいいのか、限られた時間・回数の中で街自体が壊滅したらどうするのか、3日間生き延びるにはどうしたらよいか、その辺りを噛み砕いて実際に役立つ講座にしないといけない。公民館としてどう伝えたらいいのか、そこをチェックしないといけないと思うがど

うか。

委員 24年度は3公民館だけが計画していてあとは関心がないかというところではないと思う。どの地域も防災については関心があるはずだ。地域によって防災対策は汲んでいると思う。公民館の運営審議会で全部取り上げるという考え方はどうかと思う。全部の公民館で防災講座を実施しろというのは行政の方でも無理があるのでは。

委員 公民館の講座で人が集まり、その中でこの話が盛り上がって、サークル活動とは違った人材が輩出され、そういう意味でも意義があるのではないか。

事務局 防災意識が薄れないように、各館いろいろな場所で防災意識を深めるような努力はしていくつもりです。

委員 自治会によって求めるものが違い、限度があると思う。こういう所に聞くとこういう講座があるとか、公民館が情報提供するのにも必要だと思う。

委員 行政がすべてやってあげるという時代ではないと思う。自分で身を守るという意識を根付かせることで防災が成り立つ、そういう教育も必要だ。個人が責任ある行動をとることを全面に出していく、そういう時代に来ているのではないか。

委員 最近では自己努力をしないで何かあるとすぐ行政が面倒をみるという傾向が極端ではないか。自己努力して個人が責任を持つということを公民館が教えるしかないのではないか。他にそういう場がない。

事務局 公民館職員の役割は利用者との普段の会話の中から地震の話が出れば「公民館は避難所ですから大丈夫ですよ」などと声をかけるのも大事であると考えている。

委員 検見川公民館の講座に高齢者対象の講座が組まれていないようだが。

事務局 成人対象とした講座の中でも高齢者の応募が多い。また、主催ではないが、地域の団体が公民館を使って高齢者を対象とした講座を実施するなど活発である。そ

- うしたものを公民館として支えている。
- 委員 長 他にはないか。なければ平成24年度事業計画について承認してよいか。承認であれば拍手をお願いしたい。
- 拍手を持って承認の意思を表明 —
- 委員 長 承認とする。平成23年度事業報告について何かあるか。
- 委員 員 犢橋、長作、朝日ヶ丘公民館の少年教育の講座の中で応募者数と学習者数に差が生じているのは。
- 事務局 員 犢橋公民館のこの講座は定員15名で先着順とし、補欠を2名ほど受け付けた。長作公民館でも補欠を受け付けたが、実際に2名欠席者が出てこの人数となった。朝日ヶ丘公民館でも同様に2名欠席者が出たのでこの人数となった。
- 委員 長 犢橋公民館の「びしゃをめぐる民族学」の“びしゃ”とは。
- 事務局 員 ここにいる運営審議委員さんに講師となっただき、地域によって漢字も違うしやっている行事も違う。中には道祖神等つぶさに調べる人がいるぐらい人気の高い事業である。
- 委員 員 — “びしゃ” について説明—
- 委員 員 こてはし台公民館の「遺言書の作り方」ほどの程度まで掘り下げて実施したのか。
- 事務局 員 地元の行政書士の方に講師となっただき、自筆で書くにはどうしたらよいかを中心に講義いただいた。
- (3) そ の 他
- 委員 長 平成23年11月17日実施された「第63回千葉県公民館研究大会」について出席したので報告する。
- 委員長より報告、出席しての感想を述べた —
- 笹本館長・松尾副館長 参考資料についての説明。
- 委員 長 他に何かあるか。
- 委員 員 公民館有料化の問題はどうなったか。24年度からの実施はないということによろしいか。
- 事務局 員 24年度については、実施はない。

委員 長 コミュニティセンターが有料化され、いずれ公民館も
という話があったと思うが。

事 務 局 コミュニティセンターが有料化され、公民館もそうい
う状態になったら皆さまから意見を伺いたいと以前
申し上げた。

委 員 長 質問をもとめたが特になく、審議会の終了を宣言。

第7 閉会のことば（笹本館長） 長時間にわたりご審議いただき、誠にありがとうございました。
貴重なご意見をこれからの公民館運営に参
考とさせていただきます。

閉会 15時30分

問い合わせ先 千葉市教育委員会生涯学習部幕張公民館
電話 043-273-7522